

## 今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 9月9日(金) 13:30~16:00

ところ 城東公民館

問い合わせ 秘書課 ☎552-5109

ふるさといちばん

市長の **ほっと HOT** とく

丹波篠山の時代をつくろう



## 市の医療を守るため

市の大きな課題が医療です。

約2年前に市内の大きな医療機関である兵庫医科大学ささやま医療センターと岡本病院から、両病院とも経営が厳しいので、「統合のうえ市立病院にする」ことの提案がありました。しかし、市が病院を持つことは容易なことではありませんので、専門の調査会社に委託して調査を続け、先日、市の考え方の素案を示しました。それは、ささやま医療センターは急性期医療、岡本病院は福祉や介護を中心とした医療、というように役割を分担して連携を図っていただくというものでした。

7月21日には、両病院の関係者や市医師会、市民代表、兵庫県などの関係者の会議を開催しました。しかし、兵庫医大からは赤字のまま経営を続けることについて、強い意見が述べられ、市医師会からは

経営の安定のためには市が直接運営することへの意見、さらに、専門家の方からは市が病院を持ったり運営したりすることが全国的に見ても極めて難しいことなどの意見が出され、混迷しています。

このままでは前に進みませんので、今回は論点を分け、委員を少人数にして、一つ一つ議論することとなりました。

- ①ささやま医療センターの経営状況と市からの補助の状況
- ②今後、丹波篠山市に必要とされる医療とそれを確保するための考えられる方策
- ③ささやま医療センターと岡本病院の統合の課題
- ④協定方式と指定管理方式の現状と課題
- ⑤市や市医師会、あるいは両者による病院運営は可能かなど議論していきます。

歴史をたどれば、もともと丹波篠山市では、国立篠山病院が医療を担っていました。

ところが、国は地域医療を担わないこととなり、昭和60年国立篠山病院は国からの移譲対象に。その後、多紀郡町村会、篠山町によって、当時の新築茂夫篠山町長を先頭に兵庫医大への誘致活動がなされ、平成9年に国立篠山病院は兵庫医大に移譲され、兵庫医大篠山病院が開院しました。

しかし、平成19年ごろ、協定期間の10年を前に、兵庫医大が撤退の意向を示されたため、兵庫県を交えて協議を進め、平成20年、市からの運営補助金年間1億8,000万円(うち9,000万円は救急の受け入れ実績に応じて、ささやま医療センター・岡本病院・

にしき記念病院に配分)、病院建設費補助約20億円、10年間の協定で合意しました。

平成22年には、新しく病棟も建て替わり、ささやま医療センターと改称しました。平成30年には、協定を更新し、運営補助金は年間2億1,600万円(うち9,000万円は救急の受け入れ実績に応じて)に増額となりました。

また、令和2年度からは産科の分娩が休止されています。

なお、岡本病院やにしき記念病院には救急分を除き、補助はしていません。

検討を進め、その状況を市民の皆さんにお示しして解決を目指します。

# 新型コロナウイルス感染症対策

## マスクの着用ポイント

### 屋外：原則、必要なし

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は着用する必要はありません。

しかし、人との距離が確保できない中で会話を行う場合は、着用が推奨されています。

### マスク必要なし



徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

### 屋内：原則、着用推奨

人との距離がとれない場合(通勤電車や人混みの中など)や、人と距離が確保できるが会話を行う場合は、着用を推奨しています。

人との距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合(図書館での読書、芸術鑑賞)は、着用する必要はありません。

### マスク着用推奨



- ・高齢者の方と会うときや病院に行くときは、マスクを着用しましょう
- ・一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がっています
- ・体調不良時の出勤や外出などは控えてください

新型コロナウイルス感染症の第7波が急拡大しています。基本的な感染防止対策として、3密の回避やマスクの着用、手洗いや手指消毒、換気しながらのエアコン使用などを徹底しましょう。

また、混雑した場所への外出を控え、会話の際はマスクの着用をお願いします。夏場は熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要がない場面ではマスクを外すことが推奨されていますが、左記を参考に正しいマスクの着用をお願いします。

**感染対策を忘れずに！**  
状況に応じたマスクの着用をお願いします！

問い合わせ 健康課 ☎594-1117



新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金を活用しています

## 農業資材クーポンを配布

10アール 1,000円分  
当たり クーポン券

新型コロナウイルス感染症による原材料・資材などの仕入れの停滞を受け、肥料・農薬などが高騰しています。市内の農業者の経営安定を図るため、肥料・農薬・農業資材の購入時に利用できるクーポン券を配布します。

**対象** 令和3年度に水稻、黒大豆・枝豆、白大豆、山の芋、小豆、野菜の作付けがあった農業者  
※対象者には文書で案内しています。

**支給額** 令和3年度の作付け面積10アール当たり1,000円(1,000円未満切り捨て)

**対象商品** 肥料、農薬、農業資材  
※詳細は、文書と一緒に配布しました送付チラシをご覧ください。

**利用期限** 令和4年12月31日まで

**取扱店舗** 市内協力事業者

※詳細は、文書と一緒に配布しました送付チラシをご覧ください。

**問い合わせ** 丹波ささやま農業協同組合営農部(受託事業者) ☎556-2288  
平日9:00~17:00